

シリーズ17

立石会頭の会員訪問レポート

おじゃまします！

本所は、魅力ある会議所づくりのため、職員が会員の皆さまを訪問し、本所へのご意見をお聞きし、制度や事業の一層のご利用を案内しています。
立石義雄会頭も職員とともに、会員の皆さまを訪問しておりますので、その様子を報告いたします。

山科電気工事(株)

代表者 山科 隆雄
住 所 京都市中京区夷川通東洞院西入
TEL 075-231-0223
Web <http://www.yamashina-denki.jp/>
事業内容 電気工事業(受変電・電灯・動力・弱電・LAN・空調・省エネ・省力化・防災)及び蓄光製品販売

山科社長(左)に会社の歴史や取り組み、業界の状況をご説明いただきました。



御幸町 関東屋(名)関東屋商店

代表者 西田 有一郎
住 所 京都市中京区御幸町通夷川上ル
TEL 075-231-1728
Web <http://kantoya.co.jp/>
事業内容 味噌醸造・卸・小売



味噌の仕込み、製造工程を説明する西田代表(左)

そして未来へ

新たな成長を生み出す、京都の知恵

山科電気工事(株)、御幸町 関東屋

長い歴史の中で、京都企業は様々な分野で先端性と獨創性を発揮してきました。今回は、それら京都の知恵をもとに、さらなる顧客創造に取り組む会員企業を訪問しました。

山科電気工事(株)は、京都において電灯の点灯が開始された約4年後、明治26年に京都で初めての電気工事店として創業し、これまで京都企業の社屋や工場の新設・改修に関連する工事をはじめ、公共施設、文化財関連など多くの施工実績を重ねてこられました。「創業時は避雷針の突針といった器具も製作していました」と山科隆雄社長。受け継いだ経験や幅広い知識、信頼を強みに、「電気工事に関するプロ集団として、電気の利点と弱点を踏まえた提案を行っています」と山科社長。最近では、省エネ・省力化、防災、安全といった新たなニーズに対して、顧客目線で新しい製品やシステムを提案し、ビジネスにつなげておられます。

次に訪問した(名)関東屋商店は、江戸時代の弘化4年の創業。「御幸町 関東屋」の暖簾で、創業以来の蔵と職人の技を守り伝え、京都の食文化に欠かせない白味噌をはじめ、味にこだわった丁寧な味噌づくりを続けておられます。「風味を追求する京料理店などに向けた業務用の味噌を主に製造しています」と6代目の西田有一郎代表。味噌の消費量が減少を続ける厳しい環境下にあつて、京都の料理人ははじめとする食のプロの多様なニーズに応える「テラーメイド」の製品づくりで、顧客創造に取り組んでおられます。また、味噌の用途や可能性を拡げるために、洋菓子のクリームやフランス料理のソースの材料としても提供し、新たなファンを獲得されています。

立石会頭は、訪問した2社ともに、「京都で培ったオンリーワンの強みを源泉に、社会ニーズを捉えた高付加価値の製品やサービスを生み出している」と感想を述べ、「次なる成長のために、知恵ビジネスへの支援や企業の交流をさらに推進したい」と述べました。